

元気な地方応援プログラムとは

国が財政的支援をする

措置される制度で、本町も、必要性、重要性を認識し、今後検討し9月までに公表したい。



小野 光夫 議員

総務省募集の「頑張る地方応援プログラム」に県、市町村合わせて130プロジェクト応募されたが、どういうプログラムか。本町も提出したの

9月までに公表する

町長

独自の活性化策に取り組み自治体を地方交付税の上乗せ配分、補助事業の優先採択など通して支援、さらに計画を策定した各市町村には、特別交付税が単年度で3千万円、3年間で計9千万円まで

「輝北分署」が
来年4月移管される
原因は何か

小野議員

大隅曾於地区消防組合「輝北分署」が来年4月大隅肝属地区消防組合へ移管される予定だがその原因は何か。

災害や事故等に
対処できないため

町長

鹿屋市輝北町の区域は管轄外となり救助や防災業務に対処できない。また、鹿屋市の大隅曾於地区消防組合に対する負担



大隅肝属地区消防組合へ移管予定の輝北分署

本町に対する影響と
具体的対策は

小野議員

野方住民にとっては重大な事であり影響が大きい。その対策を早急に取り組むべきと思う。

鹿屋市と救急業務に
ついて協議を進める

町長

野方地区において消防車、緊急車両の到着時間がこれまでと5分以上遅れる集落が15あり1分1秒が大事なので対応を検討していく。また、消防組合に対する人口一人当たりの負担金額は、曾於市1万300円、志布志市1万600円、大崎町1万3000円になる予定である。

本田市長の意見に
対する感想は

小野議員

3月末、私と町長が志布志市へ出向きアンケート結果を説明したが、本田市長は、「大崎町全体としてはまだ二分、志布志市全体のコンセンサスが重要」と言われた。町長の感想はどうか。

一枚岩となって
取り組む姿勢が必要

町長

大崎町の意向は理解されたと思うが、議会との合意形成が必要で、一枚岩となって取り組んでいる姿勢を示すべきと思う。

合併新法が最後の
チャンスと思うが

小野議員

少子高齢化と財政問題を考えると最後のチャンスと思うが、町長の意見はどうか。

合併新法内の
合併実現に努める

町長

志布志市との合併実現に誠心誠意努めていく。